

1書名	求職者に対する訓練コースのコーディネーター等に関する調査研究 －中間報告（２）－				
2発行番号	調査研究資料No. 131	3分野	離職者訓練	4担当室	訓練技法研究室
5目的					
<p>機構には、長年培ってきた訓練カリキュラムや訓練の手法など多くの資源を整理し、再構築することにより、業種、訓練形態などを超えて、横断的・汎用的に活用できる支援の仕組みを構築し、雇用情勢や政策の変化に弾力的に対応して研究開発する役割が求められると考えられる。</p> <p>具体的には民間教育訓練機関などが行ってきた委託訓練、職業能力形成プログラム、基金訓練などのカリキュラムを整理し、一般化すると共に種々の制度へ適用できるように「訓練コースのコーディネーターマニュアル（仮称）」作成し、併せて比較的簡易な訓練コース編成手法のプロセスを構築する。</p>					
6概要					
<p>今年度は、5年計画の2年目として、民間教育訓練機関の質保証の取組等の実態を把握し、職業訓練を実施するなかで質の向上を図っていくための支援のあり方について、具体的には、訓練を申請・認定するまでの職業訓練の質の向上を図っていくための指導・助言マニュアルを開発し、また、その結果をもとにした研修コースの開発をおこなった。</p> <p>研究会は、各地方において委託訓練、基金訓練等の担当者で構成し、それぞれの訓練の実態を把握して、課題・問題点を整理した。その上で求職者支援制度を見据えたプロセス管理に基づく職務分析をおこない、また各種訓練制度で、教育訓練機関との協力関係や良かった点や反省点など機構のノウハウをもって、求職者支援制度を想定した申請について整理した。</p> <p>具体的には申請時の教育訓練機関が行うべき事項、また機構が指導・助言すべきことを中心に検討を行い下記の成果物を作成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①職業訓練の組み立て方（コースコーディネーターマニュアル） ②申請コースの訓練内容・評価内容の審査・評価マニュアル ③教育訓練機関に求められる主な事業内容の職務分析結果 <p>以上のことを踏まえ求職者支援制度の職業訓練コース申請・審査をおこなうための教材・マニュアルの作成、及び職員向けの研修プログラム開発をおこなった。</p> <p>この教材・研修プログラムの試行検証として、求職者支援制度担当者研修（受講生98名）を実施して、アンケート調査を実施した。</p> <p>これらの結果を踏まえ調査研究資料として中間報告書、「離職者訓練コースコーディネーターマニュアル（仮称）」を作成する。</p>					
第1章 調査研究の目的・経過					
第1節 背景と目的					
第2節 共同の調査研究について					
第3節 調査研究の経過					
第2章 職業訓練コーディネーターに求められる要素分析（職務分析）					
第1節 要素分析の結果					
第3章 民間教育訓練機関に対する訓練コーディネーター					
第1節 訓練ニーズの把握と企画					
第2節 訓練カリキュラムの設計					
第3節 訓練運営体制・計画の設定					
第4節 求職者支援訓練への応用					
第5節 職業訓練のコーディネーター					

第4章 中間報告

第1節 求職者支援訓練担当職員研修の概要と実施

第2節 求職者支援訓練担当職員研修の実施結果

第3節 研修で使用した各種資料

第5章 今後の調査研究課題

第1節 職業訓練サービスの質の向上

第2節 実践的な訓練コーディネートマニュアルの策定

7本書の活用方法

今年度は、中間報告であるため求職者支援訓練に特化した形で「離職者訓練コースコーディネートマニュアル」を作成し、雇用支援機構職員向けの研修で有用性を確認した。これらは、求職者支援制度の職業訓練における、民間教育訓練機関の職業訓練コースの申請に対しての審査等に活用することができる。

注記 本報告書等は、能力開発研究センター「職業能力開発ステーションサポートシステム

- ・能力開発研究センター刊行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>